一層のにぎわい創出へ

富士宮市観光事業のスタートセレモニー

新案内所をお披露目　イベントポスター配布も

「富士宮イベントポスター2019」を披露

須藤市長のあいさつに耳を傾ける関係者

公益社団法人富士宮市観光協会、富士宮商店街連盟共催の2019年度観光事業スタートセレモニーが22日、JR富士宮駅構内にある同協会観光案内所で開かれた。改装を経て広さを増した同案内所のお披露目、「富士宮イベントポスター2019」の披露・配布、名物コンペ「それ、みやげにして宮！」の受賞商品紹介などが行われ、協会と連盟の各役員、市内商店街・観光・行政・市議会関係者らが各種事業の成功や一層の観光振興に向けて期待や決意を分かち合った。

同日はセレモニーに先立ち、関係者が富士山本宮浅間大社を参拝し、各イベントの安全や成功などを祈願した。

同駅構内・観光案内所で開かれたセレモニーであいさつした同協会の石田寛二副会長は、今年4～6月を期間に展開される静岡デスティネーションキャンペーンなど観光振興に関わるさまざまな動きに触れ、「富士宮市を訪れるお客さまは今後、ますます増えると予想されており、新しくなった観光案内所を活用して情報発信に努めていきたい」と述べた。

同連盟の増田恭子会長は「生まれ変わった案内所を大いに使わせていただきながら、住みよく温かな街を目指して頑張りましょう」と呼び掛けた。

来賓として出席した須藤秀忠市長は「今年は新たな時代の幕開けを迎える年であり、各イベントがこれまで以上に盛り上がるよう期待している。さまざまな機会を通じて富士宮市の魅力をアピールし、みんなで力を合わせて街のにぎわいを高めていきたい」と伝えた。

その後は「富士宮イベントポスター2019」の披露と関係者への配布が行われ、富士宮名物推進委員会（事務局＝同市観光協会）主催の名物コンペ「それ、みやげにして宮！」の昨年度受賞商品の紹介、同コンペの今年の募集概要説明なども繰り広げた。

改装された観光案内所

名物コンペ「それ、みやげにして宮！」の昨年度受賞商品を紹介

✚緊急医✚（24日）

▽外科・内科・小児科・歯科＝富士宮市救急医療センター（宮原・電24―9999）翌朝午前8時まで。歯科のみ午前9時～午後5時

▽眼科＝中西眼科クリニック（富士市中野・電0545―36―1800）午前9時～午後5時

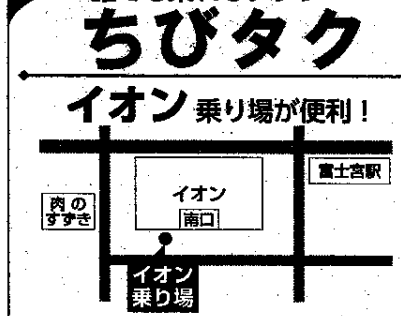
自動車図書館 びばり号

▽24日＝舟久保区1町内広場（10時～11時）月の輪住宅集会所（14時～14時45分）スーパーモロホシ駐車場（15時～15時45分）

岳南朝日
岳南朝日新聞社
〒418-0033
富士宮市野中東町46-1
代　表　(0544)28-0200
ＦＡＸ　(0544)28-0218
編　集　(0544)28-0234
営　業　(0544)28-0220
月977円　1部60円

大型・中型・けん引・大特・普通・大型二輪・普通二輪
昭和自動車学校
富士市比奈 吉原工業高校横
☎(〇五四五)三八-〇一一〇
http://www.showa-ds.jp/

岳南朝日新聞購読申し込み先
鈴木新聞店　☎26―3285
中野新聞舗　☎23―3333
勝亦新聞店　☎26―1100
SHC南部新聞販売センター　☎26―2543
中西新聞店　☎28―1133

お迎え料金0円　初乗り650円
誰でも乗れるタクシー
ちびタク
イオン乗り場が便利！


0120-269-487

動物コラム

動物における外科手術について

動物病院では、犬猫をはじめ重さ数十グラムのハムスターや鳥、50キロを超える大型犬やミニブタ、更には甲羅に覆われたカメや水の中で生活する魚等、様々な生き物が来院し、手術を受けております。動物は種類により体格や臓器の大きさ、構造も異なるため、手術には多くの知識、技術、更には特殊な医療器具が必要になります。

手術と一口に言っても、予防を目的とした去勢・避妊手術から、病気を治すことを目的とした軟部外科手術や整形外科手術、脳神経外科手術等、様々な手術があります。中でも多いのが、異物を食べてしまった、抱いていて過って落としてしまい肢の骨が折れてしまった等、生活管理の不注意が引き起こす疾患に対する手術です。

また獣医療の進歩等で動物の寿命が以前より長くなり、高齢動物に多い腫瘍等の疾患が増えたこと、人の生活スタイルの多様化により飼われる動物種も増えたことで、手術も多岐に渡るようになりました。高齢動物だから、エキゾチック動物だからといって手術ができないわけではありません。手術前に血液検査やレントゲン検査、超音波検査などの全身検査を行い、状態を把握することで手術をできる限り安全に行うことができます。

人と同様、動物も診療経験豊富な専門医医療にかかる事が良いでしょう。私も外科担当医として勤務致しております。皆様の大切な動物に手術が必要になった際はできるだけお力になりますので、当方に御相談下さい。

獣医師　古本　昌也

協力病院
24時間診療駿河動物医療センター
☎0550(83)5115
<アドバイザースタッフ>
院長 深澤　幹雄
高度救急医療センター長 増田　正樹
エキゾチック担当医 鈴木　拓也
外科担当医 古本　昌也
心循環器担当医 武田　絢子
※当コラムについての御意見、御要望等がございましたら岳南朝日新聞社にお知らせ下さい。

柚野の里から 蔵元だより

～雨水～ 2月

早くも今年も「雨水」を迎えました。雪に変わってしっとりとした春の雨が降り始め、冷たく締まっていた土を徐々に潤す、季節です。明日からは暦通り雨の予報です。

20数年前に庭のお稲荷さんの正面に植えた伊豆・河津産の「河津桜」の苗木が、今や屋根の高さになり、今満開を迎えています。そのあざやかなピンクは、まるで冬の中にそこだけ春を切り取って張り付けたかのような明るさで、まさに4Kのクリアな世界です。

「それにしても、今年の富士山は雪が少ないなあ」と、社長が驚いています。いつもは真っ白に雪化粧しているのに、今年はどんなに雲を集めた翌朝でも雪化粧はほとんど無いように見えます。何故でしょう？

そんな中、今週は酒造りも佳境を迎えています。大吟醸のしぼりが毎日続き、ベストのタイミングで酒をしぼろうと蔵人達もTシャツ姿で蔵の中をダッシュしています。今日は、もろみを袋に取りその首にひもをかけて吊るして、ぽたぽた落ちる雫を、「とびん」集めています。極上の日本酒の香りが蔵の中に満ちて、まるで花畑にいるような上品な甘い香り漂う蔵の中は、辛党にはたまりません。

この大吟醸が来月には祭りの主役となり、皆様にお披露目となります。

おかげさまで、今年もあと3週間で、「蔵開き」の開催の運びとなりました。準備で慌ただしくなってきた毎日ですが、今年も皆様の心の故郷の原風景となれるよう、社員一同準備に励んでいます。

柚野の里・村おこし　第23回「蔵開き」
3月17日(日)開催（雨天決行）

皆様のお越しを心よりお待ちしています。

伝承技法
穀蒸し
品質の富士錦
富士錦酒造株式会社
富士宮市上柚野五三一
TEL(〇五四五)六六―〇〇〇五
FAX(〇五四五)六六―〇〇七六
URL.www.fujinishiki.com